

2019年

地盤沈下調査結果

2020年8月



はじめに

この報告書は、愛知県、国土交通省、名古屋市及び名古屋港管理組合が 2019 年に実施した水準測量、地下水位観測等の調査結果をもとに、愛知県内の地盤沈下の状況についてとりまとめたものです。

水準測量については、尾張・名古屋市地域及び西三河地域において実施しました。過去に沈下の激しかった尾張・名古屋地域の地盤沈下は、概ね沈静化の傾向にあります。しかし、局地的に見ると 1 年間（2018 年 11 月 1 日～2019 年 10 月 31 日）で 1 cm 以上沈下した水準点が 7 点観測されました。特に、その内 5 点が尾張地域の北東部にある江南市で観測され、1 cm 以上の沈下域が約 3 km²（東海三県地盤沈下調査会調査結果より）見られました。この発生原因については、岐阜県美濃中西部において比較的強い地震が発生したこと、また、少雨などの影響により木曾川の河川水位が近年に比べ低下したことで、この地域の地下水位も近年に比べ低下したため、粘土混じり砂層の粘土部分の圧密を引き起こした可能性が考えられます。

西三河地域では、1 年当たりで 1 cm 以上沈下した水準点はなく、沈下域は生じませんでした。

また、軟弱地盤が広がる地域の一部では依然として沈下が進行する傾向が見られます。一方、江南市付近の砂礫層を中心とした比較的地盤沈下が起こりにくい地域においても、地震、少雨による地下水位の低下などの要因が考えられる地盤沈下が発生しました。したがって、引き続き地盤沈下・地下水位の監視を行うとともに、地下水の揚水規制等を実施し、地盤沈下の防止に努めていきます。

2020 年 8 月

愛知県環境局

目 次

1	水準測量による地盤沈下調査結果の概要 -----	1
	(1) 地盤沈下調査結果の概要 -----	1
	(2) 地域別の地盤沈下調査結果の状況 -----	2
	ア 尾張・名古屋市地域 -----	2
	イ 西三河地域 -----	8
2	地下水位調査結果の概要 -----	13
	(1) 尾張地域（規制区域内） -----	13
	(2) 尾張地域（規制区域外）・知多地域 -----	20
	(3) 西三河地域 -----	21
	(4) 東三河地域 -----	24
3	地下水揚水量の状況 -----	26
4	調査結果のまとめ -----	28
5	資料 -----	31
	資料－1 水準測量観測路線図 -----	32
	資料－2 2019年市町村別水準点変動状況 -----	34
	資料－3 地盤沈下観測所の設置状況及び設備概要 -----	36
	資料－4 2019年地下水位・地盤収縮量変動状況 -----	40
	資料－5 2019年度地下水揚水設備等の状況 -----	44
	資料－6 2019年降水量の状況 -----	46
	資料－7 東三河地域及び知多地域の地盤沈下調査結果 -----	47
	資料－8 地盤沈下対策 -----	49